第 24 回（令和 6 年度第９回）タウンミーティングの概要

１　団体名　一本木自治会
　　代表者　会長　矢嶋廣明

２　日程等
（１）開催日　令和 7 年 2 月 16 日（日）
（２）会　場　妻沼中央公民館
（３）テーマ　一本木地区の環境と安心安全について

３　意見交換の概要
※ [　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　空き地、耕作放棄地の現状を見ると、雑草が背丈以上に伸び、雑木は雑木林を形成し、野生動物のすみかとなっています。また、道路にはみ出した雑草や雑木等が通行の妨げになっていますし、不法投棄等も出てきます。火災の原因となったり事故を誘発する可能性もあり、住民の生命や財産を害する危険性があるのではないか考えています。
　その中で、行政は地権者等にどのように対処されているのですか。また、道路に出ている草を自治会で刈っていますがどこまで許されますか。法的に強制的な対応はとれないのでしょうか。

市長　現状では、農業委員会事務局または地元の農業委員さんにご相談いただきたいと思います。地権者等を調べて指導しても放置したままの人もいますが強制的な対応ができません。この問題は熊谷市全域で起きています。各所でご質問いただきますので、今後の対応についても考えなければいけないと思っているところです。

市民　私は農家ではありませんが、祖父母が耕作していた土地を相続しています。手放したくても農家の人にしか売れないと思うのですが何かいい方法がありませんか。

農業委員会事務局長　令和 5 年から、農地を 5 反以上持っている人でないと農地を買えないというルールがなくなりました。営農者に売ることはできます。

市民　地区内を南北に流れる用水に汚泥が溜まっています。大きい用水なので住民が清掃するのはとても大変です。

市長　農業政策課で、妻沼地区環境保全活動組織の役員さんと調整しているところなので少し時間を頂きたいと思います。

市民　元は農業用水だけど耕作地もなくなり浄化槽処理水などを流すだけの水路と化しているのはここだけではないと思います。将来的に所管先を考えていただき、計画的に水路の浚渫をしてほしいと思います。

市民　日本の家屋は世代間にわたって長く使うことがないので、空き家になりやすい。再利用もされずどんどん増えて、それが放置されるといろいろな問題が出てきます。どのような対応を考えていますか。

市長　空き家が日本全国で約 900 万戸、空き家率が 13.8%になっているそうです。私が市長になってから、代執行により 2 軒取り壊しています。

市民部長　法改正により、管理が不十分で放置すると特定空き家にされるおそれのある空き家を管理不全空き家に認定し、適切な管理を指導することができるようになりました。従わない場合は勧告を行い、それでも改善されない場合は固定資産税の住宅用地特例の対象から除外されます。安心安全課で認定の基準を検討しているところです。

市民　埼玉県警察の犯罪情報官のニュースマガジンの配信手続きをしてみました。月に数件程度だろうと予想していたら、日に数件の情報が入ってきます。県内市区町村別刑法犯認知件数というデータも配信され、それで熊谷市のデータを見ると、1 年間で 1300 件強の犯罪がありました。

　このニュースマガジンも一つの犯罪抑止策だと思っていますが、防犯対策の決め手は防犯カメラだと思います。そこで、防犯カメラの設置計画と個人に対する防犯カメラの設置補助についてお尋ねします。

市長　市では、ラグビーワールドカップ開催を契機として防犯カメラの設置を始め、現在 132 台となっています。今年度は 5 か所に新設します。防犯カメラの耐用年数は 6 年程度ですので、今後は新設と維持管理とのバランスを考慮して設置していく考えです。

　防犯カメラの設置補助については、自治会に対しては行っていますが、今は個人に対しては行っていません。

（安心安全課）令和７年４月１日より市民を対象に熊谷市特殊詐欺対策電話機器購入費補助金及び熊谷市家庭用防犯カメラ設置補助金の交付制度を創設しました。

市民　自治会への補助は 1 回限りですか。

市民部長　年度を分けて同じ自治会に出した例もあり、特に申請回数の制限は設けていませんが、年度の上限額は 15 万円です。

市民　防犯カメラの設置は大賛成ですが、設置場所は公表しない方がいいと思います。

市長　犯罪抑止のために設置している面もあるので設置場所を公表しています。

市民　堤防の天端の道路は、サイクリングやウォーキングで使える道だと思いますが、散歩をしていると、背後から猛スピードで追い越していく人がいて危険を感じます。
市長　歩行者を守れるよう埼玉県に情報提供していきたいと思います。

市民　桜遊歩道の桜の問題についてお聞きします。
市長　桜遊歩道の桜の問題は、クビアカツヤカミキリです。フラスが出てくると侵食が進んでいるということになります。ちなみに個人及び事業者向けの令和5年度熊谷市クビアカツヤカミキリ被害拡大防止補助金では、伐採が41本、薬剤防除324本の申請があり、全体で257万円の補助金を交付しています。

市民　人口減少対策についてお聞きします。
市長　一昨年は出生数が1,000人を切り、亡くなった方が2,600人でした。年間1,600人の自然減です。市外からの転入者を増やすために空き家の利活用も考えられ、人口減にブレーキをかけられないかと思っています。
　皆さんは合計特殊出生率と完結出生児数をご存知ですか。合計特殊出生率は15歳から49歳の女性を対象に1歳ごとの年齢別出生率を合計した指標で、完結出生児数というのは結婚した人に、何人子供が生まれているのかを示す指標です。これは約1.9人でこの20年、ほぼ変わっていません。
　要は、結婚する方が減っていることも少子化の大きな原因だと考えています。都市間競争の中で他から熊谷に移り住んでもらうことも一つの方法ですが、市が仲人役をして出会いの場をつくるようなことも、自治体の役割の一つになるかもしれません。

市民　かなり新聞報道もされていますが、新庁舎の計画についてお願いします。
市長　先週、大野知事が新年度予算の記者会見で、熊谷市のコミュニティひろばに、県の産業振興機能等と併せて熊谷市役所を建てるということを発表しました。
　市庁舎も築後50年以上経過し耐久年限の60年が迫っています。また、合併で手狭になり、旧大里庁舎に都市整備部、旧江南庁舎に環境部、妻沼には農業関係部署など、分散した機能を集約したいと考えています。ただ、行政センターとしての役割は引き続き残します。皆さんのご意見を伺う機会を設け、頂いた意見を反映していきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

市民　利根川新橋の進捗状況についてお願いします。
市長　利根川新橋については、昨年ドローンを使った測量が終わり、グライダー滑空場付近のボーリング調査も行われています。来年度以降に都市計画決定され橋の位置が決まります。第 2 段階として橋につながる県道ということになりますが、最終的にはスポーツ文化公園の東側の道路を通り、道の駅のところの交差点に出ます。

新橋や接続道路が整備されると太田市はもちろん、大泉町、千代田町、邑楽町、そして足利市、館林市がぐんと熊谷に近くなりますので、橋の効果は大変大きいと思っています。

会長　小中学校の統廃合についてお願いします。
市長　今年、太田小学校、男沼小学校、妻沼南小学校が閉校し、妻沼南小学校のところに妻沼西小学校が開校します。令和 9 年度の秦小学校と長井小学校の統合についても、今動き出しているところです。

令和 9 年度の見込みでは、秦小学校を例にとると全校生徒数が 63 人。1 年生が 7 人、2 年生が 10 人、3 年生が 9 人、4 年生が 9 人、5 年生が 17 人、6 年生が 11 人という状況です。長井小学校は、1 年生 25 人、2 年生 26 人、3 年生 29 人、4 年生 28 人、5 年生 33 人、6 年生 37 人ということで、学年によっては統合してもひとクラスのままです。

児童・生徒数が少ない方が、先生の目が行き届いていいという考え方もある一方で、役割分担がうまくできなかったり、クラス替えができない、好きなスポーツができないといった課題もあります。また、高齢の方からは歴史と伝統がある学校を残してほしいという声がある一方、保護者に関しては、子供たちにより良い教育環境をつくりたいということがあって、統合に強く反対する方がほとんどいないのが現状です。

いずれにしても子どもたちが安心して学校に通える環境は守っていきます。

市民　３点あります。妻沼運動公園のテニスコートの利用料が他市と比べて高いのではないかということ。利根川の堤防周辺でのゴミのポイ捨てや不法投棄が多いということ。緑道の車道部分に水色の矢印が表示されましたがかえって危ないのではないかということ。これらについて考え方をお聞きします。
市長　近隣と比較すると深谷市より高く、行田市より安価な料金設定になっていますが、スポーツを通じて健康寿命を延ばすことは大切なことだと考えていますので、いただいたご意見を参考に、他市や他施設の状況を調査・研究します。

利根川の堤防周辺の不法投棄については、所管が土手部分は国交省、天端部

分は埼玉県の県土整備事務所、河川敷は市管理部分がありますが、分からなければ市に連絡してください。市から各事務所に連絡して対応してもらいます。

自転車用の矢印は自転車専用レーンという意味ではなく走行する方向を示しています。自転車がはみ出てはいけないとか、車が入ってはだめということではありません。ちなみに自転車は軽車両ですから、車道走行が原則ですが、13 歳未満と 70 歳以上の人は歩道を走行できます。

市民　市長さん「あついぞ！熊谷」ですよ。暑さを逆手にとって、市の方で何か施策やアイディアが出ていませんか。

市長　「あついぞ！熊谷」は、気温上昇に伴い熱中症が増える中で、あまり市のイメージアップにはつながらない、そろそろ見直す時期だろうということで、今市役所業務ではこのキャッチフレーズは使っていません。全国に鳴り響く知名度抜群のキーワードなので、これを使わないのは勿体ないということで、使うべきか使わざるべきか悩ましいところもあるのですが、具体的なものはありません。

市民　緑道の桜の木が折れて歩道上に宙ぶらりんになっていたので、市に連絡しましたがすぐ来てくれませんでした。対応が遅いです。

また、家の近くで看板が倒れそうになっていて、日曜日だったので警察に連絡したところすぐ来たのですが何もしてくれませんでした。そのあと看板は倒れてしまいました。

私が以前勤めていた会社では何よりも安全を優先する。仕事をしなくても、その対策をしろという中で仕事をしていました。対応の仕方が違うのではないかと思い発言しました。

市長　市が立てた看板であれば撤去も含めて対応しますが、民間が立てたものは手が出せません。まずは所有者に注意喚起をさせていただいて、その後倒れたということですので改めて所有者に対して注意してくださいと言うことになるのかと思います。

会長　自治会にも情報が入っていますので、対応したいと思います。